

令和6年度医学部におけるキャリアガイダンスの実施方法及び教育・指導内容

医学部は、佐賀大学キャリアガイダンス実施方針（平成22年1月14日副学長決定）の定めるところにより、本学部の学生が卒業後自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を培うことを目的として、以下の実施方法及び教育・指導内容をもって、キャリアガイダンス（社会的・職業的自立に関する指導等）を実施する。

1 実施の方法

- (1) 本学部のキャリアガイダンスは、下表の段階ごとに正課教育と正課外教育及び指導に区分した教育・指導内容をもって実施する。
- (2) キャリアガイダンスの教育・指導は、教育委員会の責任の下に計画・実施・改善を行う。
- (3) 正課教育及び正課外教育は、主に教育委員会の責任の下に、各学科の教育目的に応じて立案し実行する。
- (4) 各年次にチューターを配置し、各学生の履修した教育内容を確認しつつ、指導・助言を行う。
- (5) 各教員は、それぞれの授業科目に応じたキャリアガイダンスを実施するとともに、教育内容の充実に務める。

2 教育・指導内容

- (1) 医学科のキャリアガイダンス（社会的・職業的自立に関する指導等）

段階	正 課 教 育	正課外教育及び指導
1年次	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入門科目Ⅰ「医療入門Ⅰ」において、将来像を念頭に6年間の履修計画を立てさせ、医療人としての自覚を高め、健全な科学精神ならびに深く豊かな人間性を陶冶する機会を与える。 ・専門基礎科目において、医学・医療の対象となる人間とそれが実践される社会について理解させる。（「生命倫理学」、「行動科学原論」） ・インターフェース科目「医療人キャリアデザイン」において、各職域・専門分野の理解を深め、各自が目指す方向性を熟慮し、その目標に向けた学習計画を立てさせる。 ・地域枠入学生特別プログラム「佐賀県内基幹病院・中核病院実習」において、佐賀県内の地域医療の現状、 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数グループに1人のチューターがつくチューター制度を採用し、早期からキャリア意識を高めるよう指導・助言を行う。 ・医師育成・定着支援センターが個別のキャリア形成支援に関する面談を行う。 ・新入生オリエンテーションにおいて、医師のキャリアガイダンスを行う。

	<p>地域医療に対する住民のニーズを知り、大学病院等における専門診療との連携のあり方についても学ぶとともに、早期からの県内医療者との交流・仲間づくりや医学習得へのモチベーションの強化を図る。</p>	
2年次	<ul style="list-style-type: none"> ・「医療入門Ⅱ」において、専門分野と社会とのつながりを学ばせる。専門知識の社会的意義を意識させるため直接医療・看護の現場に触れさせ、望ましい医師像について考える習慣を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医師育成・定着支援センターが新年度オリエンテーションにおいて、医師のキャリアガイダンスを行い、個別のキャリア形成支援に関する面談を実施する。
3年次 ～ 4年次	<ul style="list-style-type: none"> ・「機能・系統別 PBL 科目」において、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、チームワーキング能力を身に付けさせる。 ・「臨床入門」において、医療の専門職としての基本的な態度と臨床場面での医療面接技法および身体診察技法の基本を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医師育成・定着支援センターが新年度オリエンテーションにおいて、医師のキャリアガイダンスを行い、個別のキャリア形成支援に関する面談を実施する。
5年次 ～ 6年次	<ul style="list-style-type: none"> ・「臨床実習」において、これまで学習してきた基礎知識を臨床に役立つ知識や技術に高めさせ、医師としての基本的態度を学ばせる。 ・「関連教育病院実習」や「地域医療実習」において、地域医療の特徴、医療に寄せらせる社会的ニーズ、チーム医療の重要性および大学病院等における専門診療との連携のあり方について学ばせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーションにおいて臨床実習を行う上での医師としての心構えについて説明する。 ・卒業後の研修先の選択の際にチューターが指導・助言を行う。 ・5、6年次を対象に佐賀大学附属病院の卒後臨床研修センターによる説明会を年に複数回開催し、研修先の選び方・研修の受け方・今後のキャリアの選択などに関して説明する。 ・医師育成・定着支援センターが新年度オリエンテーションにおいて、医師のキャリアガイダンスを行い、キャリア形成支援に関する面談を実施する。

(2) 看護学科のキャリアガイダンス（社会的・職業的自立に関する指導等）

段階	正 課 教 育	正課外教育及び指導
1 年次	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入門科目 I 「看護学入門」において、将来像を念頭に 4 年間の履修計画を立てさせるとともに、代表的な看護論を読み、学生が志向している看護について理解を深めさせ、グループワークや発表を通して自分の考えを発展させ、看護とは何かを考察し表現できるよう学ばせる。 また、キャリア・デザインの種類を示し、キャリア・デザインについて学ばせる。 ・「公衆衛生看護学概論」「コミュニケーション論」において、生活する人々の健康に関する基本的概念を基に、保健・医療・福祉や各職種間の連携・協働の必要性について理解させる。 ・「基礎看護学実習 I（早期体験学習）」において、看護の対象に早期に接触させ、看護の実際の学びから、看護学の学習の動機づけにさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数グループに 1 人のチューター及びチュートリアルリーダーがつくチューター制度を採用し、早期からキャリア意識を高めるよう指導・助言を行う。
2 年次	<ul style="list-style-type: none"> ・「基礎看護学実習 II」において、実習病院での対象の日常生活の基礎的な援助技術を体験させ、適切な看護実践や望ましい人間関係のあり方など、看護の基本的知識・態度を学ばせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーションにおいて臨地実習を行う上での看護者としての心構えについて説明する。 ・公衆衛生看護学コースおよび助産学コースのガイダンスを開催し、保健師・助産師を志望している学生に必要な学習についての情報提供と個別指導を行う。
3 年次	<ul style="list-style-type: none"> ・「キャリア・デザイン」において、専門職として自己成長するために必要な能力の獲得に向け、実践的に行動できる基盤を身につけ、自身の将来ビジョンを明確にさせる。 ・「臨地実習」において、これまで学習してきた知識・技術・態度の統合を図らせ、臨床で適切に実践できる段階に到達できるよう、看護師とし 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア・デザインに応じた先輩へのインタビューを行うために、必要なマナーや対応について説明する。 ・キャリアセンターからの情報提供を受ける。

	<p>て必要な基礎的な能力と態度を学ばせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護専門科目の「演習」において、フィジカル・アセスメント、コミュニケーション、チームワーク、リスクマネジメントなどの臨床実践方法の基本を身に付けさせる。 	
4年次	<ul style="list-style-type: none"> ・「統合実習」において、学生自ら領域を選択し実習計画の立案の下に実習させ、自律して主体的に学習する態度と看護専門職者としての看護観を深めさせる。 ・4年次開講科目において、認定看護師や専門看護師などの資格制度や、看護における目指すキャリア実現の目標に向けた学習計画を立てさせる。継続した生涯教育の必要性について考えを深めさせる。（「看護制度・看護管理」） ・「卒業研究」において、学生自身が研究テーマを決め、看護者として探求する態度と研究方法の基本を身につけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアセンターによる「就職相談会」（4月～7月予定）を案内し、希望者に参加させる。 ・各学生のキャリア・デザインについて、チューターが中心となり、必要な手続きや学習について個別に指導・助言を行う。